

WHO ファクトシート

カンピロバクター

Campylobacter

2017年9月

重要な事実

- ・カンピロバクター菌は、下痢性疾患の4つの世界的重要な原因の一つである。それは、世界での人の胃腸炎の最も一般的な原因細菌だと考えられている。
- ・カンピロバクター感染は一般に軽度の症状であるが、幼い子ども、高齢者及び免疫が低下している人たちの間では、致命的になることがある。
- ・この細菌は、家禽類や牛など温血動物の腸管内に生息しており、これらの動物を原料とした食品に頻繁に検出される。
- ・カンピロバクターの種は、熱及び徹底した加熱調理により死滅させることができる。
- ・カンピロバクター感染を防ぐため、食物を準備するときには、基本的な食品衛生の手順を忠実に守る必要がある。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい（改定前）

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Campylobacter

ファクトシート原文は [こちら](#)